

事後評価結果の概要

1 評価対象事業箇所

県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所のうち、11箇所の評価を行いました。

2 評価内容及び結果

評価内容ごとに基準を設け評価を行いました。

評価内容	評価結果			
	A	B	C	D
事業効果の発現状況(直接的効果・間接的効果)	4	7	-	-
事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	5	6	-	-
施設の維持管理状況	4	7	-	-
地域住民等の評価	7	4	-	-
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	6	5	-	-

<評価ランクの基準>

①事業効果の発現状況 (直接的効果、間接的効果)	A: 目的を超えた達成 B: 達成した C: 概ね達成 D: 達成したとはいえない
②事業実施に伴う自然環境・ 生活環境等の変化	A: 環境が良くなった B: 大きな影響なし C: 影響が大きい
③施設の維持管理状況	A: 地域の人たちの参加あり B: 適切 C: やや不十分 D: 不適切
④地域住民等の評価	A: 評価が高い B: 中程度の評価(A,C以外) C: 評価が低い
⑤事業の主たる目的以外で 地域社会への貢献状況	A: 貢献度が高い B: 貢献している C: 特になし

3 第三者意見の概要

県が事後評価を実施した11箇所のなかから3箇所を抽出し、詳細審議を行った結果、事業効果の発現状況や環境の変化などをまとめた県の自己評価は妥当とのご意見をいただきました。

平成 28 年度 公共事業事後評価実施箇所

事業名	箇所名 (市町村名)	主な事業内容	総事業費 (百万円)	工期
地すべり対策	(地) 善福寺 善福寺 (長野市)	現場吹付法枠 A=1,762 m ² アンカー工 ΣL=1,504m ほか	324	H18~H22
県営ため池等 整備	富士塚 (伊那市)	ため池改修 1箇所 (取水施設、余水吐 ほか)	151	H19~H22
水源地域等 保安林整備	砥沢 (下諏訪町)	谷止工 12個、床固工 10個、 山腹工 0.78ha、 森林整備 85.58ha ほか	542	H14~H22
水源地域等 保安林整備	ひろがわら 広川原 (佐久市)	谷止工 8個 森林整備 110ha	183	H19~H22
山地治山	うしおざわ 潮沢 (安曇野市)	谷止工 11個、山腹工 1.65ha、 森林整備 12.4ha	374	H18~H22
県営林道開設	やはづ 矢筈 (飯田市)	林道開設 L=2,251m W=4.0m	1,016	H3~H22
総合流域防災	(一) しのいがわ くさま 篠井川 草間 (中野市)	護岸工 L=580m	383	H17~H22
道路改築	(国) 152号 たかとお 高遠バイパス (伊那市)	道路築造工 L=7,620m W=6.5(16.0)m	11,142	S54~H22
街路	(都) きゅうこくどうせん じんじやまえ 旧国道線 神社前 (千曲市)	拡幅改良工 L=241m W=6.0(18.0)m	1,176	H20~H25
県営かんがい 排水	あづみの 安曇野 (松本市、安曇野市)	排水路工 L=24,511m	7,525	H7~H22
県営中山間 総合整備	きそちゅうぶ 木曾中部 (木曾町)	農業用排水路工 L=220m 農道工 L=3,215m ほ場整備 38.7ha ほか	2,109	H12~H22

(注) 着色：抽出箇所

4 公共事業評価監視委員会からの主な意見

(1) 水源地域等保安林整備 砥沢(下飯訪町)

- 林地の荒廃に対し森林の持つ環境保全機能の回復に努めている。地元中学校への森林教育・防災教育の場となっており、総合学習の場として活用されている。

↓ 施工前の荒廃状況



↓ 施工後の状況



完了後

↓ 地元中学校の学習会の様子



(2) 県営林道開設 矢筈(飯田市)

- 本林道を利用した森林整備が進められており、事業効果を達成している。また、事業着手時からの情勢変化に伴い、全体計画の見直しを行っている。以後の計画立案等にあたっては地形・地質等をより精査しルート決定するように努めること。

↓ 林道の開設状況



↓ 林道を利用した森林整備が進められている



(3) 県営中山間総合整備 木曾中部(木曾町)

- ほ場整備などの農業生産基盤を整備することで、営農作業の効率化が図られ農業の生産性が向上している。また、活性化施設などを整備により、農産物の加工から販売までの地域雇用の場が創出されている。なお、加工グループの活動が大臣表彰を受賞するなど全国的にも注目され、地域農業の活性化に寄与している。今後のPRなどに積極的に活用していただきたい

↓ 整備されたほ場



↓ 活性化グループの取組は大臣表彰を受賞している



↓ 製品化された加工品



(4) 抽出以外の箇所

- 抽出以外の8箇所については、事業効果の発現状況、事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化、施設の維持管理状況、地域住民等の評価、事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況等から各事業の県の自己評価について妥当と判断した。